

AL アミロイドーシス症例における自家移植と化学療法のみによる治療の予後の比較

・臨床研究について

当院では最新の治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。本臨床研究は当院の臨床研究倫理委員会にて審査を受け、承認を得ています。

・臨床研究の目的・意義

AL アミロイドーシス症例において自家造血幹細胞移植は有効な治療のひとつであり、移植可能な症例では必ず検討の対象となります。AL アミロイドーシスは希少疾患であることから、国内での臨床研究の報告はほとんどありません。本研究では当院の AL アミロイドーシス症例において、自家移植を行った症例と化学療法のみで治療した症例の治療成績を後ろ向きに比較し、その予後について明らかにすることを目的とします。

・臨床研究の方法

本研究は後ろ向き観察研究です。すでに AL アミロイドーシスと診断されている症例で 2007 年 1 月以降に当院で治療を行った方を対象とします。臨床情報を診療録より抽出し調査をおこないます。

・個人情報の保護について

解析結果は個人に関わる重要な情報ですので、他人に漏れることのないように厳重に管理されます。あなたの血液などの試料や診療情報は、分析を行う前に、住所、電話番号、氏名、生年月日、カルテ番号など、あなた個人を特定できる情報をけずり、かわりに新しく番号をつけます。これを『匿名化』と呼び、日本赤十字社医療センター血液内科において『個人情報管理者』として指名された者が責任をもって行います。この番号とあなたとを結びつける対応表は、『個人情報管理者』が厳重に管理します。本研究の学会発表、論文報告においても個人を特定できる情報は一切公開されません。

研究参加に同意されない場合は、下記担当へご連絡ください。

・研究機関

日本赤十字社医療センター 骨髄腫・アミロイドーシスセンター 鈴木憲史
日本赤十字社医療センター 血液内科 宮崎寛至
〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 電話 03-3400-1311(代表)